

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第81期第1四半期(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

【会社名】 高压ガス工業株式会社

【英訳名】 KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 竹内 弘 幸

【本店の所在の場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北 隆 行

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第80期 第1四半期 連結累計期間		第81期 第1四半期 連結累計期間		第80期	
	自 至	平成24年4月1日 平成24年6月30日	自 至	平成25年4月1日 平成25年6月30日	自 至	平成24年4月1日 平成25年3月31日
売上高	(千円)	17,845,189		17,942,283		75,021,784
経常利益	(千円)	1,280,280		1,210,934		4,836,502
四半期(当期)純利益	(千円)	722,249		609,667		2,700,413
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	485,152		845,967		3,206,131
純資産額	(千円)	38,568,496		41,350,805		40,949,494
総資産額	(千円)	67,024,264		69,043,670		70,017,286
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)	13.11		11.06		49.02
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)					
自己資本比率	(%)	55.5		57.7		56.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
 2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
 3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式がないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当社は、平成25年8月9日開催の取締役会において、平成26年2月1日を効力発生日として、当社を株式交換完全親会社、当社の連結子会社であるスズカファイン株式会社を株式交換完全子会社とする株式交換を行なうことを決議し、同日付で株式交換契約を締結しました。

詳細は「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（重要な後発事象）」に記載のとおりであります。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融・経済対策への期待感から住宅投資や個人消費に持ち直しの動きが見られたものの、中国や新興国の景気後退など依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと、当第1四半期連結累計期間の売上高は179億42百万円（前年同期比0.5%増加）、営業利益は10億47百万円（前年同期比8.0%減少）、経常利益は12億10百万円（前年同期比5.4%減少）、四半期純利益は6億9百万円（前年同期比15.5%減少）となりました。

当第1四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

ガス事業

ガス事業において、『溶解アセチレン』は、建設、橋梁など公共工事向け及び造船業界向けの需要が低迷し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、アルゴン、炭酸が堅調に推移したものの、酸素、窒素が建設、鉄鋼、電機、化学、半導体向けに需要が減少し、また、LPガスは輸入価格の下落に伴ない減少し、売上高は前年同期を下回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資の先送りや、工事需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『容器』は、輸出及び中容器の需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は132億64百万円（前年同期比1.0%減少）、営業収入は69百万円（前年同期比0.8%増加）、営業利益は8億49百万円（前年同期比12.6%減少）となりました。

化成品事業

化成品事業において、『接着剤』ペガールは塗料用、接着用が新規需要により増加し、粘着用がテープ、ラベル用途にそれぞれ需要を伸ばし、瞬間接着剤シアノンは国内は前期並みであったものの海外向けが円安の影響を受け増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、室内温度の上昇を防ぐ遮熱塗料クールトップの需要が増加し、外装パネル用が新規需要が増加したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は44億20百万円（前年同期比3.4%増加）、営業収入は2百万円（前年同期比34.7%減少）、営業利益は3億31百万円（前年同期比7.1%減少）となりました。

その他事業

その他事業は、L S Iカードや光学機器の需要の増加により、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2億57百万円(前年同期比59.1%増加)、営業利益は41百万円(前年同期比878.0%増加)となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費は70百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,577,526	55,577,526	東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	55,577,526	55,577,526		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		55,577,526		2,885,009		2,738,251

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 459,000		
	(相互保有株式) 普通株式 92,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 54,551,000	54,551	
単元未満株式	普通株式 475,526		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,577,526		
総株主の議決権		54,551	

- (注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれています。
 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式及び相互保有株式が次のとおり含まれています。
 自己株式 448株
 相互保有株式 スズカファイン(株) 231株
 スズカケミー(株) 560株
 名岐溶材(株) 226株(こうあつ共栄会名義)

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 高圧ガス工業株式会社	大阪市北区堂山町1-5	459,000		459,000	0.82
(相互保有株式) スズカファイン株式会社	三重県四日市市塩浜町1	41,000		41,000	0.07
スズカケミー株式会社	佐倉市石川熊野堂620-1	43,000		43,000	0.07
名岐溶材株式会社	岐阜市手力町1-4	1,000	7,000	8,000	0.01
計		544,000	7,000	551,000	0.99

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持分数	こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,492,326	13,623,631
受取手形及び売掛金	1 22,387,461	1 21,794,753
電子記録債権	60,294	263,539
商品及び製品	2,439,857	2,436,244
仕掛品	380,182	429,432
原材料及び貯蔵品	1,120,044	1,130,062
繰延税金資産	773,761	593,090
その他	219,041	351,123
貸倒引当金	156,567	155,329
流動資産合計	41,716,401	40,466,548
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,185,975	5,147,311
機械装置及び運搬具(純額)	2,121,026	2,125,050
土地	12,541,100	12,534,863
建設仮勘定	93,553	243,335
その他(純額)	716,212	759,938
有形固定資産合計	20,657,868	20,810,499
無形固定資産		
のれん	116,130	108,441
その他	164,381	151,760
無形固定資産合計	280,512	260,202
投資その他の資産		
投資有価証券	6,004,821	6,341,092
繰延税金資産	233,697	15,397
その他	1,218,395	1,242,079
貸倒引当金	94,411	92,149
投資その他の資産合計	7,362,503	7,506,420
固定資産合計	28,300,884	28,577,122
資産合計	70,017,286	69,043,670

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 16,977,866	1 16,397,937
短期借入金	2,594,000	2,624,000
1年内返済予定の長期借入金	1,639,996	1,639,996
未払法人税等	853,057	256,402
賞与引当金	1,166,966	535,879
その他	1 2,204,104	1 2,623,714
流動負債合計	25,435,990	24,077,930
固定負債		
長期借入金	2,023,351	2,013,352
繰延税金負債	492,412	498,076
退職給付引当金	176,343	163,851
役員退職慰労引当金	49,520	31,000
負ののれん	739	369
その他	889,434	908,285
固定負債合計	3,631,801	3,614,934
負債合計	29,067,791	27,692,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,885,009	2,885,009
資本剰余金	2,745,142	2,745,142
利益剰余金	33,048,399	33,217,123
自己株式	244,128	244,899
株主資本合計	38,434,423	38,602,375
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,080,957	1,270,732
その他の包括利益累計額合計	1,080,957	1,270,732
少数株主持分	1,434,113	1,477,697
純資産合計	40,949,494	41,350,805
負債純資産合計	70,017,286	69,043,670

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	17,845,189	17,942,283
売上原価	12,878,763	12,987,963
売上総利益	4,966,426	4,954,319
営業収入	72,267	71,634
営業総利益	5,038,693	5,025,954
販売費及び一般管理費	3,899,997	3,978,375
営業利益	1,138,696	1,047,578
営業外収益		
受取利息	1,251	1,349
受取配当金	59,001	69,879
受取手数料	19,862	33,156
負ののれん償却額	369	369
その他	112,994	108,049
営業外収益合計	193,479	212,804
営業外費用		
支払利息	19,297	17,513
その他	32,597	31,934
営業外費用合計	51,894	49,448
経常利益	1,280,280	1,210,934
特別損失		
投資有価証券売却損	-	184
投資有価証券評価損	5,782	-
特別損失合計	5,782	184
税金等調整前四半期純利益	1,274,498	1,210,749
法人税、住民税及び事業税	329,693	261,870
法人税等調整額	160,889	288,839
法人税等合計	490,583	550,709
少数株主損益調整前四半期純利益	783,915	660,040
少数株主利益	61,666	50,372
四半期純利益	722,249	609,667

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	783,915	660,040
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	298,762	185,926
その他の包括利益合計	298,762	185,926
四半期包括利益	485,152	845,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	431,113	799,442
少数株主に係る四半期包括利益	54,039	46,525

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理

当四半期連結会計期間末日は、金融機関の休日にあたりますが、満期日に決済が行なわれたものとして処理しています。当四半期連結会計期間末日満期手形は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	1,132,324千円	966,661千円
支払手形	1,001,153千円	911,498千円
設備支払手形	42,370千円	22,740千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	340,183千円	351,323千円
のれんの償却額	9,689千円	10,689千円
負ののれんの償却額	369千円	369千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	385,887	7	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	440,944	8	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,410,207	4,273,306	161,674	17,845,189		17,845,189
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	68,809	3,458		72,267		72,267
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	13,479,017	4,276,765	161,674	17,917,457		17,917,457
セグメント利益	972,622	356,960	4,248	1,333,831	195,134	1,138,696

(注) 1 セグメント利益の調整額 195,134千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高	13,264,569	4,420,352	257,362	17,942,283		17,942,283
外部顧客への売上高						
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	69,378	2,256		71,634		71,634
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	13,333,947	4,422,608	257,362	18,013,918		18,013,918
セグメント利益	849,235	331,408	41,555	1,222,199	174,620	1,047,578

(注) 1 セグメント利益の調整額 174,620千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	13円11銭	11円06銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	722,249	609,667
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	722,249	609,667
普通株式の期中平均株式数(株)	55,090,665	55,082,174

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

当社と当社の連結子会社であり、非上場会社であるスズカファイン(株)は、平成25年8月9日開催の両社取締役会において、平成26年2月1日を効力発生日として、当社を完全親会社、スズカファイン(株)を完全子会社とする株式交換(以下、本株式交換という。)を行なうことを決議し、両社間で株式交換契約を締結いたしました。

1. 本株式交換の目的

当社と連結子会社であるスズカファイン(株)は、従来より密接な連携関係に基づき関係強化に取り組んできましたが、両社を取り巻く環境は厳しさをましており、一層のグループ基盤の強化が急務となっております。化成品部門のグループ連結経営に関し、運営の機動性を強化し、業務の効率化、連結収益力の強化及び連結企業価値の向上を図ることを目的として、連結子会社であるスズカファイン(株)を本株式交換により完全子会社とすることといたしました。

2. 本株式交換の要旨

(1) 本株式交換の要旨

- 平成25年8月9日 株式交換決議取締役会(両社)
- 平成25年8月9日 株式交換契約締結(両社)
- 平成25年11月20日(予定) 株式交換承認株主総会(スズカファイン(株))
- 平成26年2月1日(予定) 株式交換の日(効力発生日)

(2) 本株式交換の方式

当社を株式交換完全親会社、スズカファイン(株)を株式交換完全子会社とする株式交換となります。本株式交換は、当社については会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより、当社の株主総会の承認を得ることなく行ないます。スズカファイン(株)については、平成25年11月20日に開催予定の臨時株主総会にて承認を得たうえで行なう予定です。

(3) 本株式交換に係る割当ての内容

会社名	高圧ガス工業(株) (株式交換完全親会社)	スズカファイン(株) (株式交換完全子会社)
株式交換に係る割当ての内容	1	0.29

株式割当比率

スズカファイン(株)普通株式1株に対して、当社普通株式0.29株を割当て交付します。ただし当社が保有するスズカファイン(株)普通株式3,042,700株については、本株式交換による割当ては行ないません。

株式交換により交付する株式

当社普通株式1,218,203株を交付する予定です。なお、交付する当社普通株式には当社が保有する自己株式を充当し、新株式の発行は行なわない予定です。

3. 本株式交換に係る割当ての内容の算定根拠等

本株式交換の株式交換比率の算定にあたり、公正性・妥当性を確保するため、当社とスズカファイン(株)は両社から独立した第三者機関をそれぞれ選定し、両第三者機関に対して当社及びスズカファイン(株)の株式価値の算定を依頼しました。両第三者機関は、上場会社である当社の株式価値については市場株価法により、非上場会社であるスズカファイン(株)の株式価値については各種評価方式を検討した結果、時価純資産法によりそれぞれ算定しました。当社及びスズカファイン(株)はその両算定結果を参考に両社間において協議のうえ、株式交換比率を決定いたしました。

4. 株式交換の相手会社の概要

名称 : スズカファイン株式会社

所在地：三重県四日市市塩浜町1番地
代表者：代表取締役社長 福井 正郎
事業内容：各種塗料及びエアゾールの製造販売

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 9日

高圧ガス工業株式会社

取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大西 康弘 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田中 賢治 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高圧ガス工業株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高圧ガス工業株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはX B R Lデータ自体は含まれていません。